

# 令和2年度事業報告

公益財団法人 日本消防協会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が全世界規模で混乱をもたらした。そのような中でも日本国内では相変わらず火災や地震、台風や局地的な豪雨といった災害の多い一年であった。特に令和2年7月豪雨では日本列島を活発な前線が覆いつつほとんど停滞したため、九州地方や岐阜県周辺では記録的な大雨となった。熊本県、鹿児島県、福岡県、佐賀県、長崎県、岐阜県及び長野県の7県に大雨特別警報が発表され、この大雨により、球磨川や筑後川、飛騨川、江の川、最上川といった大河川での氾濫が相次いだほか、土砂災害、低地の浸水等により、人的被害や物的被害が多く発生した。また、西日本から東日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となり、各地で突風による被害が発生した。

さらに令和3年2月末から3月にかけて、日本各地で山火事が相次ぎ、特に栃木県足利市では鎮火まで23日を要した大規模な山火事が発生した。

このように災害が相次ぐ中、当協会はその都度、大規模災害活動支援金の交付など必要な対応を行った。令和2年度は、こうした状況のもと、以下のようなさまざまな事業を実施した。

9月17日、平成30年8月群馬県で発生した群馬県防災ヘリコプター事故で殉職された消防職員7柱を含む11柱を合祀し、内閣総理大臣（代理）及び総務大臣（代理）等の特別来賓のご参列をいただき第39回全国消防殉職者慰霊祭を厳粛に挙行了した。

地域防災力の強化に資する事業として、指導員等の教育訓練事業、新時代に対応した消防団運営のあり方に関する講座を実施するとともに引き続き消防団防災学習・災害活動車両を10台交付した。

また、例年全国の消防団長、消防団幹部候補者の方に東京に集まっていたいただき、消防団幹部特別研修・消防団幹部候補中央特別研修を実施していたが、新型コロナウイルスの影響により両研修を合同とし、インターネットを活用した映像配信研修を実施した。

また、消防応援団の協力を得て、ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」の全国ネット放送を行うなど、消防団の広報活動を積極的に展開するとともに、全国の消防団員をサービスの対象とする「全国消防団応援の店」の一層の普及に努めた。

新型コロナウイルスの影響により、徳島県において開催予定であった全国女性消防団員活性化徳島大会は延期とし、千葉県市原市において開催予定であった全国消防操法大会は中止とした。

また、将来の地域防災を担う少年消防クラブの活動を支援するため、毎年総務省消防庁が実施している全国少年消防クラブ交流会に対して全面的に協力していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

国際交流事業として、オンラインによるCTIFの会議に参加した。また、開発途上国に各地の消防機関から提供された消防車両40台を援助した。

共済事業については平成28年度の入院見舞金の支給要件の緩和により、消防団員等福祉共済の支給件数が増加し続けているほか、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を踏まえ、新型コロナウイルス感染症と診断された場合や、公務としての消防団活動を原因とした濃厚接触者が宿泊療養や自宅療養を行った場合にも入院見舞金の支給対象とした。

また、婦人消防隊員等共済、防火防災共済及び消防個人年金事業とともに、消防団員等のための福祉厚生事業として充実を図りながら実施した。

令和2年度事業計画に基づく各般の事業については、都道府県消防協会をはじめ関係者の絶大なるご協力により成果をあげることができた。3月には、激甚化している災害、これまでとは違う様相の災害にどう対応するかという問題意識のもとに「新たな災害環境への対応」をテーマにしたオンライン方式でのシンポジウムを開催した。

その他内閣府及び防災推進国民会議（副議長 日本消防協会会長）等の主催により開催された防災推進国民大会2020（10月広島県）に参加、協力した。

日本消防会館の改築については、令和2年6月の役員会において事業費予算を決定し、令和2年11月には、建設期間中の移転先としてかねてより計画していた東新橋のヤクルト本社ビルの仮事務所に移転した。さらに令和2年12月に建設工事の契約を締結し、令和3年1月から現会館の解体工事を開始した。

また、日本消防会館の改築開始に当たり、現会館に対し深い感謝の気持ちを込めてお別れを告げるとともに、日本消防の、そして全国市町村の益々の発展に貢献することができる新会館建設への思いを新たにすするため、「日本消防会館、新たな発展へ」（記念集会）を9月17日の全国消防殉職者慰霊祭に引き続き開催した。

## I 公益目的事業

次のとおり、地域防災力の向上等に資する事業を実施した。

### 1. 消防団員等の福祉厚生に関する事業並びに消防殉職者及びその遺族に対する弔慰救済に関する事業

#### (1) 消防団員等福祉共済事業

##### ① 加入者数の状況

消防職団員等の加入者は、令和3年3月末日現在で806,691人となっており、そのうち消防団員の加入者は798,947人である。

##### ② 共済金給付の状況

支払われた共済金額は、総額11億5,154万円余である。

(内訳)

##### ア 公務で死亡又は障害を受けた加入者

弔慰金	2件	4,600万円
弔慰救済金	2件	1,000万円
保育援護金	1件	25万円
重度障害見舞金	2件	3,400万円
見舞金	2件	290万円

##### イ 死亡した加入者又は障害を受けた加入者

遺族援護金・生活援護金、障害見舞金 938件 8億2,836万円余

##### ウ 事故又は疾病を原因として病院等に入院した加入者

入院見舞金 5,045件 2億3,002万円余

##### ③ 入院見舞金の支給要件緩和

入院見舞金については、平成28年度に支給要件を「入院日数7日以上」に緩和し、より手厚い給付内容としたことにより、支給件数が増加している。

##### ④ 福祉増進事業

福祉共済事業への加入促進、加入者の事故防止に資する以下の事業を附帯業務として実施した。

##### ア 健康増進事業

- ・ 季刊紙の発行  
「いきいき消防」11万部を発行し、全国の消防団等に配付した。(年4回)
- ・ 健康増進器具の配布  
全国の消防団へ健康増進器具の配布等のための助成
- ・ 都道府県消防操法大会への助成(4.(3)参照)

##### イ 大規模災害活動支援事業(2.参照)

##### ウ 慰霊祭事業

- ・ 第39回全国消防殉職者慰霊祭[令和2年9月17日(木)]  
防災の任務を遂行中、不幸にして尊い犠牲となられた、消防殉職者及び消防協力殉難者の功績をたたえ、その御霊に深甚なる敬意と感謝の誠を捧げるため挙行了。

新合祀 11 柱

合祀合計 5,773 柱

・ 慰霊祭助成 [通年]

(ア) 都道府県消防協会の行う慰霊祭に対し助成金を交付した。

31 道県 310 万円

(イ) 殉職者慰霊式助成金

なし

エ 加入促進事業

・ 車両交付事業

消防団活動車 A (ワンボックス型) 15 台 消防団活動車 B・防災活動車 (SUV 型) 32 台

合計 47 台

・ 女性消防団員制服交付事業

初めて女性消防団員を採用した消防団等に制服 556 着を交付した。(5.(2)参照)

・ 新時代に対応した消防団運営のあり方に関する講座 (6.(2)参照)

・ 全国女性消防団員活性化徳島大会 (4.(2)参照) ※新型コロナウイルスの影響により延期

・ 全国消防団応援の店

全国の消防団員をサービスの対象にする「全国消防団応援の店」は、各都道府県消防協会をはじめ関係の皆様のご協力のもとに急速に広がりつつあり、様々な業種が登録されて、令和 2 年度末には 4,800 店舗を超えた。

・ 全国消防大会 (4.(3)参照) ※ 新型コロナウイルスの影響により中止

・ 全国消防操法大会 (4.(1)参照) ※ 新型コロナウイルスの影響により中止

・ 消防団幹部等特別研修事業 (6.(1)参照)

・ 消防団防災学習・災害活動車両交付事業 (5.参照)

・ 消防団情報提供事業 (8.(1)参照)

・ ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」(8.(4)参照)

・ 助成金の交付

都道府県消防協会が行う消防団員研修、福祉共済加入説明会等に対し助成金を交付した。

(2) 婦人消防隊員等福祉共済事業 [通年]

① 加入者数の状況

婦人消防隊員等の加入者は、令和 3 年 3 月末現在で 12,516 名となっている。

② 共済金給付実績等

弔慰金 (10 件)、重度障害見舞金 (1 件)、障害見舞金 (4 件) 及び入院見舞金 (32 件) をそれぞれ支給した。また、都道府県消防協会等に対して会議費や事務費を助成した。

③ 加入の促進

婦人消防隊員等福祉共済制度加入推進計画に基づき、婦人消防隊員等福祉共済制度の説明会へ職員等を 2 回派遣して、制度の周知を図った。

2. 大規模災害の被災地に対する見舞及び支援並びにこれらの斡旋に関する事業

消防団災害活動等支援

長時間にわたり災害活動を行った消防団に支援金及び非常用食料を交付した。

- ・ 豪雨災害 1 件 (山形県、岐阜県、島根県、長崎県、福岡県、大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県) [令和 2 年 7 月]
- ・ 建物火災 1 件 (栃木県) [令和 2 年 8 月]
- ・ 林野火災 1 件 (栃木県) [令和 3 年 2 月]

### 3. 消防活動等の表彰に関する事業

#### (1) 優良消防団員表彰

次のとおり、優良消防団等を表彰した。

- ① 特別表彰「まとい」(功績顕著なる消防団) 10 団
- ② 特別功労章(消防業務につき特別の功労のあった者) 10 名
- ③ 表彰旗(功績ある消防団) 37 団
- ④ 竿頭綬(表彰旗を授与するに至らないが功績のある消防団) 90 団
- ⑤ 功績章(消防の改善発達に特段の功績のある正会員) 950 名
- ⑥ 精績章(永年勤続及び消防業務に関し、率先垂範その成績優秀なる正会員) 2,275 名
- ⑦ 勤続章(勤続 30 年以上に及び職務に精励した正会員) 7,783 名
- ⑧ 優良婦人消防隊表彰(優良な婦人消防隊) 14 隊
- ⑨ 優良婦人消防隊員表彰(婦人消防隊の充実、発展に特に貢献した者) 10 名
- ⑩ 永年勤続者表彰(都道府県消防協会役職員等で勤続 10 年以上に及び勤務成績が良好な者) 5 名

なお、定例表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からとりやめた。

#### (2) 特別表彰 [随時] 7 件

### 4. 消防防災に係る記念事業及び大会の開催に関する事業

#### (1) 全国消防操法大会 [令和 2 年 10 月 16 日(金)]

※ 新型コロナウイルスの影響により中止

#### (2) 全国女性消防団員活性化徳島大会 [令和 2 年 11 月 19 日(木)～20 日(金)]

※ 新型コロナウイルスの影響により延期

#### (3) 全国消防大会(再掲) [令和 3 年 3 月 5 日(金)]

激甚化している災害、これまでとは違う様相の災害にどう対応するかという問題意識のもとに「新たな災害環境への対応」をテーマにしたオンライン方式でのシンポジウムを開催した。

※ 定例表彰式は、新型コロナウイルスの影響により中止

#### (4) 都道府県消防操法大会 [通年]

7 の都道府県が実施した消防操法大会を対象に 1 協会あたり 50 万円を限度として助成金を交付した。

#### (5) 防災推進国民大会 2020 [令和 2 年 10 月 3 日(土)]

内閣府、防災推進国民会議及び防災推進協議会の主催により広島市において開催された防災推進国民大会 2020 に協力し、「数々の災害体験をのりこえて」を開催した。

### 5. 消防防災に係る施設設備及び資機材の充実強化に関する事業

#### (1) 消防団防災学習・災害活動車両交付事業

(一財)日本宝くじ協会の助成を受けて、地域住民等に対する防災指導や防災学習に使用するほか、災害時には人員輸送や資機材搬送などにも使用できる防災学習・災害活動車両を 10 台交付した。

#### (2) 女性消防団員制服交付事業(再掲)

女性消防団員確保対策事業の推進と広報効果の向上を図るため 556 着の制服を交付した。

## 6. 消防団員等の教育訓練に関する事業

### (1) 消防団幹部等特別研修事業

#### ① 消防団幹部特別研修及び消防団幹部候補中央特別研修 [令和3年2月19日(金)]

(一財)全国市町村振興協会の助成を受けて、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、消防団長等に対するオンライン方式での研修を行った。

#### ② 消防団員指導員研修 [随時]

(一財)全国市町村振興協会の助成を受けて、消防団員の指導員養成のためのテキスト「消防団幹部実務必携」を作成するとともに19の都道府県消防協会と連携して指導員研修(497名受講)を実施した。

### (2) 新時代に対応した消防団運営のあり方に関する講座 [随時]

時代の変化に即応した消防団活動の充実、消防団員の確保など消防団組織の強化を進めるため、全国で消防団の活動事例等を作成するとともに、これらを活用し、各都道府県の協力を得て、いわゆる出前講座を7回実施した。

### (3) 全国消防操法大会(再掲)

### (4) 全国女性消防団員活性化徳島大会(再掲)

### (5) 都道府県消防操法大会(再掲)

## 7. 地域防災を支える婦人消防隊、少年消防クラブ、自主防災組織等の活動支援に関する事業

### (1) 少年消防クラブ活性化推進事業

(一財)日本防火・防災協会が実施する少年消防クラブ指導者研修会

※ 新型コロナウイルスの影響により中止

### (2) 全国少年消防クラブ交流大会 [令和2年9月19日(土)～9月21日(月)]

消防庁が主催し、鳥取県で開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止

### (3) 婦人消防隊員等福祉共済事業(再掲)

## 8. 消防防災思想等の普及徹底及び情報の収集提供並びに雑誌図書その他の刊行頒布に関する事業

### (1) 消防団情報提供事業 [通年]

(公社)全国市有物件災害共済会の助成を受けて、ホームページの充実を図り、日本消防協会の事業等について広報に努めるとともに、全国の消防団の活動状況、消防団員確保等に係る情報を提供し、消防団相互の情報交流を積極的に推進した。

### (2) 機関誌「日本消防」発行事業 [通年]

全国の消防団の活動状況等を掲載した機関誌「日本消防」を92,000部発行し都道府県消防協会、関係省庁、都道府県、市区町村、消防関係機関、各図書館、報道関係等に無料配布した。

なお、この他に有料分として、22,000部を発行した。(II 2. 再掲)

### (3) 情報誌「地域防災」への発行協力

(一財)日本防火・防災協会が平成27年度に創刊した、地域防災に関する総合情報誌「地域防災」(隔月4万部)の発行に協力した。

(4) ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」[通年]

日本消防検定協会及び(一財)自治総合センターの協力を受け、全国30局ネットにより毎週計52回放送した。消防応援団等の方々が、各地の消防団員に電話インタビューを行い、広く消防団員の士気の向上、一般の人々の消防団活動に対する理解促進を図った。

(5) 消防団情報プラザ事業 [通年]

消防団活動の状況などを広く国民の皆様にもまでご理解頂くことができるよう日本消防会館の玄関ホールに開設している同プラザでは、特集としての「東日本大震災と消防活動」「消防団120周年・自治体消防65周年記念大会」「ヨーロッパ青少年消防オリンピック」「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」等に加え、「熊本地震」や「平成30年7月豪雨」等の直近の災害の状況等の写真を事務所が港区東新橋に仮移転する令和2年10月まで展示した。

(6) 消防懇話室

幅広い消防防災関係の皆さんに気軽に立ち寄っていただき、自由にお話合いができるよう日本消防協会仮事務所内(6階)に消防懇話室を設けた。

## 9. 防火防災訓練につき市町村が行う災害補償等の共済に関する事業

防火防災訓練災害補償等共済事業

(1) 加入団体数の状況

市区町村及び組合が防火防災訓練の際における事故について損害賠償又は災害補償を行う場合その負担をてん補することを目的とした制度で、令和3年3月末現在における契約団体数は1,281団体、総人口に対する契約団体の人口の割合は68.86%となっている。

(2) てん補実績等

損害賠償はなく、災害補償として、入院療養補償(6件)及び通院療養補償(13件)、休業補償(3件)をそれぞれてん補した。また、共済還元事業として、市町村等に対して防災活動車を10台交付した。

## 10. 消防防災に係る調査研究に関する事業

(1) 地震等防災対策委員会

※ 新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 消防団員確保対策等委員会

※ 新型コロナウイルスの影響により中止

## 11. 都道府県消防協会及び消防諸団体の事業に対する協力並びにこれら団体の相互連絡に関する事業

都道府県消防協会のほか、殉職消防職団員等の子弟の育英事業を行う公益財団法人消防育英会、消防職団員の福祉厚生の一翼を担う生活協同組合全日本消防人共済会、民間防火組織の育成や防火・防災思想の普及を行う一般財団法人日本防火・防災協会、消防殉職者のご遺族の連絡組織である全国消防殉職者遺族会等に対する事業協力を行った。[通年]

## 12. 消防防災に係る国際協力に関する事業

(1) 日中韓消防交流事業

① 日中韓消防協会会議

※ 新型コロナウイルスの影響により中止

② 日中消防協会定期協議会

※ 新型コロナウイルスの影響により中止

- ③ 中国消防視察  
※ 新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 消防国際交流事業

- ① 海外消防事情調査  
※ 新型コロナウイルスの影響により中止
- ② C T I F (国際消防救助協会)
  - ア オンラインによるC T I F女性消防委員会会議に参加した。[令和2年6月16日(火)]
  - イ オンラインによるC T I F総会に参加した。[令和2年10月2日(金)]

(3) 消防車両等国際援助事業 [通年]

各地の消防機関から提供された消防車両を整備し、開発途上国にポンプ車及び救急車等計40台を援助した。

## II 収益事業

公益目的事業の補完的役割を担う事業として次のとおり実施した。

1. 日本消防会館のホール、会議室等を提供する事業 [通年]

貸室及び貸ホール等の利用状況(令和3年3月31日現在)

貸室	13事業所	772.99坪
ホール	66回	
大会議室	55回	
第A、B、C会議室 合計	106回	

2. 消防防災に関する出版物や物品を販売する事業 [通年]

機関誌「日本消防」などの出版物、消防団協力事業所表示証及び日消グッズなどの販売促進に努めた。

3. 消防団員等を対象とする積み立て方式の年金事業 [通年]

(1) 消防個人年金事業加入者数の状況

消防団員の総合的な福祉の増進を目的とした事業の一環として実施しており、令和3年3月末現在における加入者数は16,101名、年金受給者は12,529名となっている。

(2) 加入の促進

消防個人年金加入推進計画に基づき、消防個人年金制度の説明会へ職員等を4回派遣して、制度の周知を図った。また、都道府県消防協会等に対して活動費や会議費を助成したほか、令和2年度中の新規加入者数や既加入者占有率が一定の基準を満たした都道府県消防協会等に対して報奨金を支払った。

### Ⅲ その他

#### 1. 日本消防会館の改築

日本消防会館の改築については、平成28年6月の役員会において決定した単独改築の方針に基づき、日本消防の総合的な中核拠点であるとともに市町村自治の発展に貢献することを基本とした新会館の建設を目指して、多くの方々のご相談を重ね、平成30年6月の役員会において、新日本消防会館の建設に着手することを決定して以降、令和2年度は次のとおり事業推進を行った。

実施設計	令和2年4月～9月
入札手続	令和2年9月～11月
事務所仮移転	令和2年11月（港区東新橋のヤクルト本社ビルに移転）
工事契約	令和2年12月4日
現会館解体工事	令和3年1月～

#### 2. 正会員の状況

日本消防協会令和2年度会員数調べ

令和2年10月1日現在

正会員数	内訳		備考 ※うち女性消防団員
	団員	職員	
909,126人 (-14,382人)	823,436人 (-14,850人)	85,690人 (468人)	27,690人 (97人)

( )内は、令和元年10月1日からの増減



(参考1) 会議の開催状況

※ 令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響により、以下の会議の大半を書面会議とした。

## 1. 正副会長会議

第1回 [令和2年6月25日(木)]

場所 日本消防会館5階 第2会議室

提出議案 (1) 会長、副会長等の選定について

(2) 地震等防災対策委員会等3委員会委員の委嘱について

(3) 内閣府への報告について(令和元年度事業報告)

(4) 名誉会員について

協議事項 (1) 日本消防会館の改築の今後の進め方について

(2) 令和2年度全国消防殉職者慰霊祭について

(3) 市町村振興宝くじ(サマージャンボ)の販売促進への協力について

報告事項 今後の全国大会等の開催計画について

その他 国庫補助金の活用について

第2回 [令和2年8月24日(月)]

場所 日本消防会館5階 第2会議室

報告・協議事項

(1) 新日本消防会館建設への進捗状況について

(2) 「日本消防会館、新たな発展へ」(記念集会)について

(3) 全国消防殉職者慰霊祭について

(4) 新型コロナウイルス感染症について

(5) 令和2年7月豪雨について

その他 (1) 消防団の装備の現況について

(2) 防災推進国民大会2020について

(3) おはよう!ニッポン全国消防団 ラジオゲスト一覧について

## 2. 理事会

第1回 定時理事会(書面会議)[令和2年6月12日(金)]

議案 (1) 令和元年度事業報告の承認について

(2) 令和元年度決算の承認について

(3) 令和2年度補正予算について

(4) 顧問の選任について

(5) 書面による定時評議員会の開催について

協議事項 (1) 市町村振興宝くじ(サマージャンボ)の販売促進への協力について

(2) 監事及び会計監査人の選任に関する監事の同意について

第2回 臨時理事会[令和2年6月25日(木)]

場所 日本消防会館5階 第2会議室

議案 (1) 会長、副会長等の選定について

(2) 地震等防災対策委員会等3委員会委員の委嘱について

(3) 内閣府への報告について(令和元年度事業報告)

(4) 名誉会員について

協議事項 (1) 日本消防会館の改築の今後の進め方について

(2) 令和2年度全国消防殉職者慰霊祭について

- (3) 市町村振興宝くじ（サマージャンボ）の販売促進への協力について
- 報告事項 今後の全国大会等の開催計画について
- その他 国庫補助金の活用について

第3回 臨時理事会 [令和2年9月17日（木）]

場所 日本消防会館5階 第2会議室

- 議案
- (1) 主たる事務所の移転について
  - (2) 名誉会員の推薦について
  - (3) 日本消防協会福祉共済事業等運営委員会委員の委嘱について
  - (4) 評議員会の招集について

報告・協議事項

- (1) 新日本消防会館建設への進捗状況について
- (2) 防災推進国民大会2020について

- 資料配布
- (1) 令和2年7月豪雨による被害について
  - (2) 令和2年台風10号による被害について
  - (3) 新型コロナウイルス感染症への対応について
  - (4) 消防団の装備の現況について
  - (5) おはよう！ニッポン全国消防団 ラジオ出演ゲストについて

第4回 臨時理事会（書面会議）[令和2年12月4日（金）]

- 議案
- (1) 日本消防協会職員給与規程の一部改正について
  - (2) 名誉会員の選任について

第5回 臨時理事会（書面会議）[令和3年2月1日（月）]

- 議案
- (1) 決議の省略（書面）による評議員会について
  - (2) 日本消防協会福祉共済事業等運営委員会委員の委嘱について

第6回 定時理事会（書面会議）[令和3年3月4日（木）]

- 議案
- (1) 令和3年度事業計画の承認について
  - (2) 令和3年度収支予算の承認について
  - (3) 令和3年度都道府県消防協会分担金の承認について
  - (4) 名誉会員の推薦について
  - (5) 消防団員等公務災害補償等共済基金と締結する「金銭消費貸借契約兼抵当権設定契約」の承認について

協議事項 新日本消防会館の建設について

- 報告事項
- (1) 全国消防殉職者慰霊碑の移設について
  - (2) 消防団幹部等研修の実施について
  - (3) シンポジウム「新たな災害環境への対応」について
  - (4) 新型コロナウイルス感染症にかかる入院見舞金の対応について
  - (5) 消防庁設置「消防団員の処遇等に関する検討会」について

- 諸般の報告
- (1) 今後の全国大会等の開催計画について
  - (2) 「全国消防応援団の店」について
  - (3) 消防育英会支援自動販売機について
  - (4) 防災推進国民大会2021の開催について

### 3. 評議員会

第1回 定時評議員会（書面会議）[令和2年6月25日（金）]

- 議案 (1) 令和元年度事業報告及び決算の承認について  
(2) 理事・監事の選任について  
(3) 補欠評議員の選任について  
(4) 会計監査人の選任について  
(5) 令和2年度補正予算について

理事会決議事項の報告

顧問の選任について

協議事項 市町村振興宝くじ（サマージャンボ）の販売促進への協力について

第2回 評議員会（書面会議）[令和2年7月20日（月）]

- 議案 (1) 補欠評議員の選任について  
(2) 補欠理事の選任について

第3回 評議員会（書面会議）[令和2年9月1日（火）]

- 議案 (1) 補欠評議員の選任について  
(2) 補欠理事の選任について

第4回 評議員会（書面会議）[令和2年12月4日（金）]

議案 日本消防協会役員給与規程の一部改正について

第5回 評議員会（書面会議）[令和3年2月15日（月）]

- 議案 (1) 補欠理事及び補欠監事の選任について

第6回 評議員会（書面会議）[令和3年3月19日（金）]

- 議案 (1) 令和3年度事業計画の承認について  
(2) 令和3年度収支予算の承認について  
(3) 令和3年度都道府県消防協会分担金について  
(4) 消防団員等公務災害補償等共済基金と締結する「金銭消費貸借契約兼抵当権設定契約」の承認について

理事会決議事項等の内容

名誉会員の選定について

協議事項 新日本消防会館の建設について

### 4. 監事監査（書面会議）[令和2年6月5日（金）]

内容 令和元年度事業及び会計の監査について

### 5. その他会館改築関係

日本消防会館建設運営委員会	[令和2年6月25日（木）]	}	日本消防会館 5階第2会議室
	[令和2年8月24日（月）]		
新・日本消防会館建設委員会	[令和2年11月20日（金）]		ヤクルト本社ビル6階大会議室

(参考2) 役員名簿

役員 (令和3年3月31日現在)

理事(会長)	秋本 敏文		令和2年6月25日再任
理事(副会長)	平井 勇光	(北海道)	令和2年6月25日再任 (令和2年6月25日副会長再任)
〃	福島 啓嗣	(福島県)	令和2年6月25日就任 (令和2年6月25日副会長就任)
〃	沖山 仁	(東京都)	令和2年6月25日再任 (令和2年6月25日副会長再任)
〃	中島 正幸	(群馬県)	令和2年6月25日就任 (令和2年6月25日副会長就任)
〃	齋藤 雅美	(愛知県)	令和2年6月25日就任 (令和2年6月25日副会長就任)
〃	井尻 智久	(和歌山県)	令和2年6月25日再任 (令和2年6月25日副会長就任)
〃	木谷 正芳	(山口県)	令和2年6月25日再任 (令和2年6月25日副会長再任)
〃	荒木 圭一	(香川県)	令和2年6月25日就任 (令和2年6月25日副会長就任)
〃	諏訪 義則	(鹿児島県)	令和2年6月25日再任 (令和2年6月25日副会長再任)
理事(理事長)	三輪 和夫		令和2年6月25日再任
理事(常務理事)	米田 順彦		令和2年6月25日就任
理事	小林 輝幸		令和2年6月25日再任
〃	能任 清志	(北海道)	令和2年6月25日再任
〃	下山 正彦	(青森県)	令和2年7月20日就任
〃	鈴木 守	(新潟県)	令和2年6月25日就任
〃	本間雄一郎	(埼玉県)	令和2年6月25日就任
〃	武井 郁郎	(長野県)	令和2年6月25日就任
〃	鹿熊 正一	(富山県)	令和2年9月1日就任
〃	岩木 政己	(三重県)	令和2年6月25日就任
〃	大濱 進彦	(大阪府)	令和2年6月25日就任
〃	岸谷 義雄	(兵庫県)	令和2年6月25日再任
〃	相良 正人	(鳥取県)	令和2年6月25日再任
〃	松浦 嘉昭	(島根県)	令和2年6月25日再任
〃	井住 正三	(徳島県)	令和2年6月25日再任
〃	大西 浩司	(愛媛県)	令和2年9月1日就任
〃	川上 清記	(長崎県)	令和3年2月15日就任
〃	陣内 成和	(佐賀県)	令和2年6月25日再任
監事	山下 修治	(岩手県)	令和2年6月25日就任
〃	井出 秀実	(山梨県)	令和2年6月25日就任
〃	八木 聖二	(京都府)	令和2年6月25日就任
〃	永井 秀一	(岡山県)	令和2年6月25日就任
〃	山本 一樹	(熊本県)	令和3年2月15日就任

退任された役員（令和2年度中）

理事（副会長）	山下 修治	（岩手県）	令和2年6月25日退任
〃	葉梨 衛	（茨城県）	令和2年6月25日退任
〃	西口 茂敏	（奈良県）	令和2年6月25日退任
理事（常務理事）	兵谷 芳康		令和2年6月25日退任
理事	大湊 一郎	（青森県）	令和2年7月20日辞任
〃	伊藤 力	（山形県）	令和2年6月25日退任
〃	松山 一八	（福島県）	令和2年6月25日退任
〃	大津 政美	（神奈川県）	令和2年6月25日退任
〃	福田 治雄	（栃木県）	令和2年6月25日退任
〃	大湯 政行	（石川県）	令和2年6月25日退任
〃	高野 行雄	（富山県）	令和2年9月1日辞任
〃	多田 壽夫	（岐阜県）	令和2年6月25日退任
〃	土居 敏夫	（愛媛県）	令和2年9月1日辞任
〃	大澤 俊朗	（福岡県）	令和2年12月16日死亡
監事	高橋 正尚	（秋田県）	令和2年6月25日退任
〃	石橋 毅	（千葉県）	令和2年6月25日退任
〃	松浦 文信	（静岡県）	令和2年6月25日退任
〃	荒木 圭一	（香川県）	令和2年6月25日退任
〃	川上 清記	（長崎県）	令和3年2月15日辞任

( 附属明細書 )

## ○ 利益相反取引の報告について

令和 2 年 3 月 3 日開催の定時理事会において承認された一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成 18 年法律第 48 号）第 197 条において読み替えて準用する同法第 84 条第 1 項第 2 号に規定する利益相反取引の状況は、次のとおりである。

### 1. 取引の内容

地域防災力の充実強化を一層推進するため、公益財団法人日本消防協会定款第 5 条各号に定める当協会が行う事業のうち、第 8 号事業（少年消防クラブ等の活動支援）、第 9 号事業（消防防災思想の普及徹底）及び第 11 号事業（消防防災に関する調査研究）に資するよう、第 13 号事業（消防諸団体の事業に対する協力）の一環として、民間防火・防災組織の育成や防火・防災思想の普及等を全国的に実施する一般財団法人日本防火・防災協会に対し助成金を交付。

### 2. 助成金対象事業

一般財団法人日本防火・防災協会が令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの間に、女性（婦人）防火クラブ、幼少年消防クラブ及び自主防災組織の活動支援等に資するものとして実施した民間防火防災組織活動促進事業。

（例）研修会の開催・協力援助、法被・手帳等の活動促進用物件の製作配布、消防庁との共催による「まちづくり大賞」表彰式の開催等

### 3. 助成金交付額

20,000,000 円（令和 2 年 11 月 11 日 10,000,000 円交付、令和 3 年 3 月 22 日 10,000,000 円交付）

※ 公益目的事業会計（うち防火防災訓練災害補償等共済事業特別会計）より支出